

2019年度事業計画

岡山商科大学専門学校

1 現状と課題

(1) 在学生数推移

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
1学年	71 (54)	50 (35)	87 (69)	80 (69)	75 (60)
2学年	38 (25)	62 (46)	42 (29)	70 (52)	61 (51)
キャリア専攻			11 (11)	8 (8)	29 (29)
計	109 (79)	112 (81)	140 (104)	158 (129)	165 (140)

各年度数字は5月1日現在 () は留学生

- ① 日本人の入学生が昨年より4名、キャリア専攻が21名増え、昨年を7名上回る165名が在籍する。
- ② 2020年度までに学生数を150名とする「岡山商科大学専門学校 学校安定化推進計画」の基本目標を、2年連続前倒しで達成できた。

(2) 学科別入学生の変動

- ① トラベル観光学科
 - ・2018年度は3名が入学し、2019年度は5名が入学した。
- ② まんが・ネットショップ学科
 - ・2018年度は6名が入学し、2019年度は5名が入学した。
- ③ 事務職養成学科
 - ・2018年度は2名が入学し、2019年度は5名が入学した。
- ④ 大学編入学科
 - ・2018年度は61名が入学し、2019年度は58名が入学した。
- ⑤ キャリア専攻学科
 - ・2018年度の8名が入学し、2019年度は29名が入学した。
- ⑥ 国際総合ビジネス学科の新設
 - ・就職を希望する学生が多くなっている状況に対応して、2020年度から大学編入学科を改編して国際総合ビジネス学科を新設する。

(3) 施設設備について

- ① Windows 7のサポートが2020年1月に終了するので、学生用パソコン37台を、私立専修学校設備整備費等補助事業を活用して更新した。また、職員用パソコン10台も更新した。
- ② エアコンと照明の更新を予定どおり年次計画で進めた。

2 事業計画

(1) 附帯教育

岡山商科大学社会総合研究所主催の資格取得支援（商大塾）について、大学と連携して大学生や一般社会人の受講者の増加を図る。

(2) 連携教育

① 岡山商科大学附属高等学校

ア. 連携教育指定講座の実施

附属高校の課題研究（3年生2単位）の中で、「ドリカムゼミ」を実施していたが、昨年度は希望者がなく開講しなかった。連携教育特待生として授業料の一部を免除する制度も設けており開講したい。

イ. 資格講座の実施

リテールマーケティング（販売士）2級講座を計画したが、希望者が少なく開講できなかったため、本年度は実施したい。

ウ. インターンシップ（体験授業）

昨年度は2年生の12名が、8月1日～2日の2日間にわたり、本校の様々な学科の授業を体験した。本年度も計画したい。

② その他

昨年度は、7月9日に予定されていた倉敷商業高校2年生25名による「学校見学会」が、豪雨・水害の影響で中止になった。実績のある岡山御津高校、創始学園高校、第一学院高校からも依頼がなかったが、要請があれば積極的に協力したい。

(3) 広報活動（入学者確保）

- ① 日本人用、留学生用のガイダンスとも参加を増やし、入学生の確保を図る。
- ② 「大学編入学科」を、就職にも対応できる「国際総合ビジネス学科」に改編して募集するので、専用のチラシを作成して重点的に広報する。

(4) 教育の質向上

- ① 昨年度留学生の4教室に「プロジェクター」が整備できたので、ICTを活用したわかりやすい授業を推進する。
- ② 昨年度オンラインで日本語の学習ができる「eラーニングシステム（4カ国語対応）」を導入したので、留学生の日本語教育に活用する。
- ③ 新たにトラベル観光学科常勤教員を採用したので、トラベル観光学科のみならず学校全体の教育の質向上を図る。

(6) 人事管理

- ① 目標管理によりPDCAサイクルを構築し、スパイラルレベルアップを図る。
- ② 少人数の利点を活かし、明るく風通しの良い職場環境を構築する。